

2014 年度（対象年度：2013） 自己点検・評価シート【大学全体の視点】

基準 1	理念・目的
------	-------

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評価形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
101	建学の精神は、適切に設定されていますか。	①建学の精神は、本学が目指すべき方向性や育成する人間像を明らかにしていますか。	A	A
		②建学の精神は、教育、研究、社会貢献の面で具現化されていますか。【※どのように】	A	
102	建学の精神が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されていますか。	③明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。	A	B
		④構成員(教職員および学生)に対し周知し、十分理解されていますか。【※どのように】	B	
		⑤社会に対し、公表していますか。【※どのように】	A	
103	建学の精神の適切性について、定期的に検証を行っていますか。	⑥建学の精神の適切性について、検証しましたか。【※どのように】	A	A

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。
2011 年度から開始した全学的な自己点検・評価の過程において、建学の精神の理解を深めるための手段であった表現等が、あたかも新たな「建学の精神」であるかのごとく使用されている状況が一部で確認され、本学の建学の精神が「浄土真宗の精神」とあるという認識の共有が構成員の間で不十分であることが明らかになった。このため、第 21 回部局長会（2012.9.27 開催）において、本学の「建学の精神」の具現化にかかるこれまでの経緯や問題点を整理し、各用語の位置づけを明確し、あらためて龍谷大学の『建学の精神』を明文化した。これを受けて、各掲示板への掲示や学生手帳・出講手帳への掲載、ホームページでの公表等をおこなった。また 1 年次生の必修科目である「仏教の思想」の講義時に『龍谷大学「建学の精神」』（宗教部発行）を補助教材として配付した。
〔改善すべき点の確認〕前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。
・明文化した「建学の精神」について、月例法要や公開講演会、学内研修等を通じて言葉を解説し、理解を深められるよう努める。 ・既存の印刷物の記載内容の更新に努める。

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。
・「仏教の思想」の講義において「龍谷大学『建学の精神』」をサブテキストとして使用している。 ・月例法要・顕真アワー等での講演会、各媒体での配付により、周知している。

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。

- ・建学の精神の周知や具現化については、評価や総括の方法を宗教委員会等で検討する。

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
101-①、②	学校法人龍谷大学寄付行為・龍谷大学学則（抜粋）
101-①、102-④	龍谷大学「建学の精神」
102-⑤	ホームページ 日本語 http://www.ryukoku.ac.jp/about/spirit.html 英語 http://www.ryukoku.ac.jp/english2/about/e_spirit.html 中国語 http://www.ryukoku.ac.jp/chinese2/about/spirit.html
	学生手帳「建学の精神」

II. 評価結果

総評

前年度努力課題となった評価項目 102 に対する改善計画では、2013 年度中に「建学の精神」「ブランドコンセプト」などに対する認識について、学生部や学長室が実施している調査結果等をもとに実態について把握する。（～2014 年 3 月末）となっていたが、現状説明では確認できないので、改善されていないと判断せざるを得ない。また、[改善すべき点の確認] 欄にも努力課題が示されていない。

必修科目である「仏教の思想」の補助教材として『龍谷大学「建学の精神」』を配布していることは評価できるが、整備された「龍谷大学の建学の精神」以外の内容は、前々学長の時代から全く変更されていない。前々学長の時代は 5 項目の説明に重点が置かれていたので、リニューアルを考えたほうがよいと思う。

なお、建学の精神の適切性についての定期的な検証や、建学の精神の周知方策等について、毎年、宗教委員会でのどのような総括を行っているのか示していただきたい。

伸長すべき点(長所) 《箇条書き》

必修科目である「仏教の思想」の補助教材として『龍谷大学「建学の精神」』を配布していることは評価できる。しかし、整備された「龍谷大学の建学の精神」以外の内容は、前々学長の時代から全く変更されていない。前々学長の時代は 5 項目の説明に重点が置かれていたので、リニューアルを考えたほうがよいと思う。

改善すべき点 《箇条書き》 * 各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載

- ・前年度努力課題となった評価項目 102 に対する改善計画では、2013 年度中に「建学の精神」「ブランドコンセプト」などに対する認識について、学生部や学長室が実施している調査結果等をもとに実態について把握する。（～2014 年 3 月末）となっていたが、現状説明では確認できないので、改善されていないと判断せざるを得ない。

【努力課題】

- ・建学の精神の適切性についての定期的な検証や、建学の精神の周知方策等について、毎年、宗教委員会でのどのような総括を行っているのか示していただきたい。【留意点】

※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要

IV. 全学的課題事項

2013 年度	■評価項目 102 「建学の精神」を知らない学生が多く存在し、さらにはブランドコンセプト「You,Unlimited」と混同する学生が多く存在することは、2012 年度全学協議会において指摘されている。また、正式な徽章を知らず、ブランドロゴマークを校章と勘違いしている学生も多く見られる。今後、不変の建学の精神の浸透と、社会の変化をとらえながら未来を志向するブランドの浸透とを、同時に進める効果的な方法を、教職学協働で検討する必要がある。【努力課題】
2012 年度	■シート番号 102 ホームページ以外の社会への公表媒体において、記入漏れや齟齬がないか確認することが必要である。【努力課題】
	■シート番号 103 「建学の精神に対する構成員の認識にばらつき」が起こった現状の改善を契機として、今後の防止策も含め定期的に検証する体制を構築することが必要である。【努力課題】

2014 年度（対象年度：2013） 自己点検・評価シート【大学全体の視点】

基準 1	理念・目的
------	-------

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評価形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
101	教育にかかる基本方針は設定されていますか。	①教育にかかる基本方針は建学の精神が反映されたものになっていますか。	A	A
		②育成する人間像は、明確ですか。	A	
102	教育にかかる基本方針は構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されていますか。	③明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。	B	B
		④構成員（教職員および学生）に対し、周知し十分理解されていますか。【※どのように】	B	
		⑤社会に対し、公表していますか。【※どのように】	A	
103	教育にかかる基本方針の適切性について定期的に検証していますか。	⑥教育にかかる基本方針を検証しましたか。【※どのように】	A	A

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。 点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。
① 建学の精神を反映した「龍谷大学の教育にかかる基本方針」を設定し、履修要項等に明示している。 ② 第5次長期計画で策定した大学の教育にかかる基本方針を本学の全学的な教育理念・目的と位置付け、「建学の精神に基づいて、『平等』、『自立』、『内省』、『感謝』、『平和』の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、『広い学識』と『進取の精神』を持って人類社会に貢献する人間を育成する」ことを履修要項等に明示している。 ③ 教育にかかる基本方針については、2013年度から履修要項等の各媒体に明示する原稿の統一化を図った。但し、本学ホームページに記載されている「龍谷大学における教育に係る理念・目的・方針の体系図」については、一部の文言（教育プログラム→「共生の精神を備え、社会の幅広い分野で貢献しうる有為な人間を輩出する」）を適切な表現に改める必要がある。 ④ 上記③のとおり構成員に対し周知を行っている。 但し、教育にかかる基本方針の理解状況に関する調査・検証が課題である。 ⑤ 教育にかかる基本方針について、大学ホームページ等を通じて広く公表している。 ⑥ 教育にかかる基本方針について、自己点検・評価制度により検証している。
[改善すべき点の確認] 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。
・教育にかかる基本方針の周知状況及び理解状況の調査・検証 ・教育にかかる基本方針について、構成員（教職員および学生）に対し、周知し十分理解されているか否かを判定する手法の開発が望まれる。【留意点】

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。

- ・2011 年度に構築した自己点検・評価制度により、大学の理念・目的について、定期的に検証を行うことが可能となった。

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。

- ・教育にかかる基本方針の周知状況及び理解状況の調査・検証方法について検討する。
- ・本学ホームページに記載されている「龍谷大学における教育に係る理念・目的・方針の体系図」について、適切な表現に改める。

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
102	本学ホームページ＜抜粋＞（「教育理念・目的」と「3つの方針」）

II. 評価結果

総評

「教育にかかる基本方針」について各媒体に明示する原稿の統一化を図ったことは点検項目③の観点から評価できる。

なお、教育にかかる基本方針の構成員の理解状況についての調査・検証が課題と現状説明に記載されているが、是非手法を開発して頂きたい。

また、建学の精神や教育にかかる基本方針等の明示の齟齬については、努力課題とされていたこともあり、2013 年度から履修要項等の各媒体に明示する文言の統一化を図っているが、本学ホームページに記載されている「龍谷大学における教育に係る理念・目的・方針の体系図」の下部の文言（「共生の精神を備え、社会の幅広い分野で貢献しうる有為な人間を輩出する」）に依然として齟齬が見られる。この内容が示されているのはこの図のみであり、内容的には人間育成目標となっている。本学の人間育成目標は「龍谷大学の建学の精神」に示される『真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする』ことのできる人間を育成する」であるので、早急に修正していただきたい。

伸長すべき点(長所) 《箇条書き》

- ・「教育にかかる基本方針」について各媒体に明示する原稿の統一化を図ったことは点検項目③の観点から評価できる。

改善すべき点 《箇条書き》 * 各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載

- ・教育に係る基本方針について、構成員(教職員および学生)に対し、周知し十分理解されているか否かを判定する手法の開発が望まれる。【留意点】
- ・建学の精神や教育にかかる基本方針等の明示の齟齬については、努力課題とされていたこともあり、2013 年度から履修要項等の各媒体に明示する文言の統一化を図っているが、本学ホームページに記載されている「龍谷大学における教育に係る理念・目的・方針の体系図」の下部の文言（「共生の精神を備え、社会の幅広い分野で貢献しうる有為な人間を輩出する」）に依然として齟齬が見られる。この内容が示されているのはこの図のみであり、内容的には人間育成目標となっている。本学の人間育成目標は「龍谷大学の建学の精神」に示される『真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする』ことのできる人間を育成する」であるので、早急に修正していただきたい。【努力課題】

※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要